

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度、下記の項目につきまして検査内容を変更させていただく事になりましたので、ご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬白

記

《検査項目》 [26520] 非結核性抗酸菌M I C (ブロスミックNTM)
《変 更 日》 2024年3月30日(土)受付分より
《変更内容》

検査 コード	変更箇所 変更後	変更前
	項目名称 非結核性抗酸菌M I C	非結核性抗酸菌M I C (ブロスミックNTM)
	非結核性遅発育抗酸菌 (SGM)	迅速発育抗酸菌 (RGM) 非結核性抗酸菌

26520	DOXY (トキサイクリン)	FRPM (ファロペネム)	STFX (シタロキサシン)
	INH (イソニアジド)	LVFX (レボフロキサシン)	SM (ストレプトマイシン)
報告薬剤	LZD (リネゾリド)	MFLX (モキシフロキサシン)	EB (エタンブトール)
CAM (クラリスロマイシン)	EB (エタンブトール)	AZM (アジスロマイシン)	KM (カナマイシン)
AZM (アジスロマイシン)	TH (エチオナミド)	CAM (クラリスロマイシン)	RFP (リファンピシン)
MFLX (モキシフロキサシン)	RBT (リファブチン)	ST (スルファメトキサゾール/トリメトプリム)※	RBT (リファブチン)
STFX (シタロキサシン)	RFP (リファンピシン)	DOXY (トキサイクリン)	LVFX (レボフロキサシン)
AMK (アミカシン)	AMK (アミカシン)	MEPM (メロペネム)	CAM (クラリスロマイシン)
	TOB (トブラマイシン)	LZD (リネゾリド)	TH (エチオナミド) AMK (アミカシン)
KM (カナマイシン)	IPM (イミペネム)	CLF (クロファミジン)	
MINO (ミノサイクリン)			

※ST(スルファメトキサゾール/トリメトプリム)につきましては、スルファメトキサゾールのMIC値を報告いたします。

*裏面へ続く



抗酸菌は結核菌と非結核性抗酸菌に大きく分けられ、非結核性抗酸菌は更にその発育の速さによって遅発育抗酸菌（slowly growing mycobacteria：SGM）と迅速発育抗酸菌（rapidly growing mycobacteria：RGM）に分けられます。非結核性抗酸菌症は多剤併用化学療法による長期間の治療を必要とするため、適切な薬剤選択が重要です。本検査は CLSI M24 3rd Edition に準拠しており、SGM、RGM それぞれに対応した薬剤感受性検査で、非結核性抗酸菌症の治療方針の決定に有用です。

《注意事項》

- ・既に培養同定と共にブロスミックNTMでご依頼されている場合で、3月30日(土)以降に薬剤感受性検査に入るものについては、新しい方法で検査しご報告させていただきます。
- ・貴施設にて抗酸菌の培養同定検査を行った後の菌株でご提出の場合は、単独で分離されている事をご確認いただいた上、菌種名を依頼書にご記入ください。
- ・同定されていない菌株でご提出の場合は、抗酸菌同定(質量分析) (検査コード:23449) も同時にご依頼ください。菌種確定後に検査を行います。